

地盤調査機の特徴

地盤調査機名: ジオカルテ II (スウェーデン式サウンディング自動貫入試験機)



当社の地盤調査機は貫入試験をコンピューター制御により、自動的に迅速かつ、正確なデータ処理を行います。

正確、迅速なデータ処理を実現

- 試験データのプリント出力により現場で結果確認ができます。

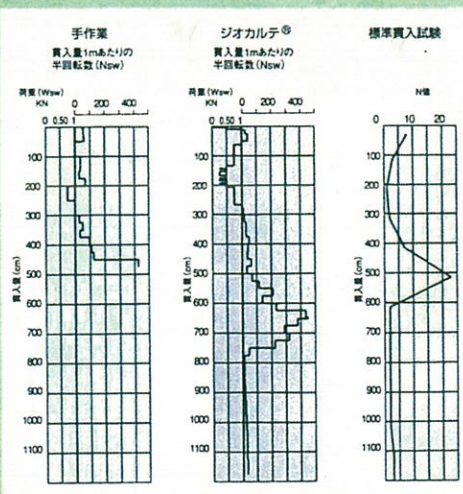


試験、測定記録を正確に自動化

- 貫入ロッドの回転数計測、自沈検出と荷重変更0.25、0.50、0.75、1KNを自動制御。データの記録ミス、事務所での転記、入力ミスがなく、試験の信頼性を高めます。

試験中の現場例

仕様	SS202型
試験方式	スウェーデン式サウンディング試験方法に準じたコンピュータ制御による自動貫入試験
試験荷重の変更	自沈状態を自動検出し、4段階で自動切り換え 0.25、0.50、0.75、1.0KN
チャック開閉方式	自動でロッドをチャッキング、手動でチャック解除
貫入ロッド	φ19×750mm溝付き 外周3か所に溝加工
最大ロッド回転速度	約25.0rpm (通常モード時 *1) 16.1rpm (パワーモード時 *2)
ロッド最大回転トルク	205.9N・m (パワーモード時 *2)
最大昇降速度	159.1mm/秒 (通常モード時 *1) 119.4mm/秒 (パワーモード時 *2)
制御方式	マイコン制御 (32ビット制御用マイコン使用)
試験データ記録	標準モード: 自沈時 状態変化で記録、ロッド回転時 250mm毎記録
試験データ出力	内蔵プリンタを使用して印刷 通信 (RS-232C) を使用してパソコン等に出力 コンパクトフラッシュに出力
試験データ出力内容	試験情報 (試験年月日、時間、試験番号) 試験データ (貫入量、荷重、半回転数、観察記録、ロッド回転トルク等)
データ記憶容量	50ポイント分 (10m貫入、自沈なしの場合)
試験機構造	ビルドブロック式 (5つのユニットに分割され、各ユニットの質量は25Kg以下)
試験機寸法	W630×D900 (1100) ×H1290 コッコ内は車輪引き出し時 (試験時)
試験機質量	103kg (おもり無し) 147kg (おもり含む)
制御装置寸法	W300 (410) ×D300×H410 コッコ内は運搬用取手部を含んだ最大寸法
制御装置質量	20kg
電源仕様	単相 AC100V±5% 23A 50/60Hz (関東/関西共用)
使用温度	0~45℃



【試験データのプリント出力例】

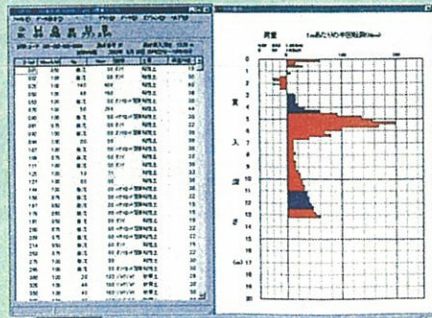
GeoKarte2 No. 001-002-003-004-01
03/05/28 09:22

D	Hw	Na	観察	Memo
0001	0.50	自沈	774	
0002	1.00	自沈	774	
0025	1.00	14.0		
0050	1.00	4.0		

0053	1.00	自沈	774	
0070	1.00	5.0		
0080	1.00	自沈	774	
0081	0.75	自沈	774	
0092	1.00	自沈	774	
0095	1.00	0.0		
0107	1.00	自沈	774	
0109	0.75	自沈	774	
0111	1.00	自沈	774	
0125	1.00	1.0		

0127	1.00	0.0		
0144	1.00	自沈	774	
0156	0.75	自沈	774	
0163				

【パソコン上での試験結果表示例】



【Gグラフによる試験データの印字例】

